



SG ニュース 2018 年 4 月号

今月号のニュースは以下のとおりです。詳細は、各タイトルをクリックいただきますと、当協会ウェブサイトの該当ページにリンクします。

① [ウォーキングスポーツ用ポールの新 SG 基準等の適用開始](#)

本年 4 月 1 日よりウォーキングスポーツ用ポールの SG 基準は新基準及び新検査マニュアルの適用を開始し、経過期間 6 か月を設けました。一部委託検査機関において型式試験費等の手数料変更があります。

なお、旧基準・検査マニュアルに基づき試験・検査を行い表示された SG マークは、新基準・検査マニュアル適用後も有効です。

② [「イベント用テント」SG 基準・検査マニュアルの制定及び事務受付](#)

本年 4 月 2 日付けで「イベント用テント」の SG 基準及び検査マニュアルを制定し、工場等登録・型式確認方式の事務受付を開始しました。

なお、ロット認証方式の事務受付開始は本年 6 月 1 日です。

③ [空気ポンプの SG 基準を改正](#)

「空気ポンプ（旧名：自転車用空気ポンプ）」の SG 基準を改正し、適用及び事務受付は本年 4 月 1 日に開始しました。試験手数料等に変更があります。

旧基準との移行期間は 2019 年 3 月末日までとなります。

なお、旧基準・検査マニュアルに基づき試験・検査を行い表示された SG マークは、新基準・検査マニュアル適用後も有効です。

④ [ゆたんぼの新 SG 基準等の適用開始](#)

本年 4 月 1 日よりゆたんぼの SG 基準は新基準及び新検査マニュアルの適用を開始し、経過期間 12 か月を設けました。

なお、旧基準・検査マニュアルに基づき試験・検査を行い表示された SG マークは、新基準・検査マニュアル適用後も有効です。

⑤ [幼児用鉄棒等の業務委託検査機関である「一般財団法人ボーケン品質評価機構」の移転](#)

一般財団法人ボーケン品質評価機構の生活用品試験センターが本年3月12日に移転しました。型式試験用試料の送付先など再度ご確認をお願いします。

⑥ [取引銀行名の変更](#)

当協会の振込先銀行名が本年4月1日に「三菱東京UFJ銀行」から「三菱UFJ銀行」に変更されました。弊協会へのお振り込みの際には、銀行名をご確認いただきますようお願い致します。

⑦ [中国連絡所の所在地変更](#)

当協会中国連絡所が本年4月4日に移転しました。

⑧ [SGマーク新規登録工場リスト→2017年度\(3月末現在\)](#)

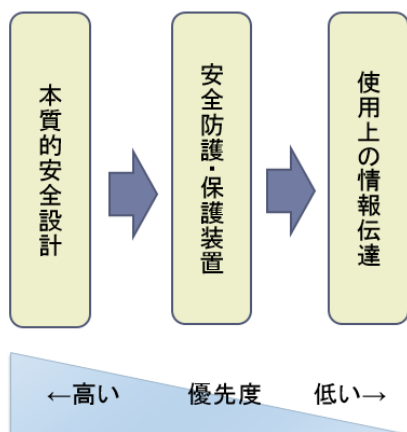
2017年度3月末現在の登録工場リストを公表しました。

アラカルト：使用上の注意喚起とその効果（ゆたんぼの低温やけどの事例から）

SG基準の低温やけどに関する注意表示は、2005年改正時に盛り込まれました。

簡単に低温やけどについて説明しますと、低温やけどとは、温熱熱傷の1つ。低温火傷による熱傷であり、長時間の熱源の接触により受傷するものです。例えば、身体接触部の温度が44℃だと約3～4時間で受傷すると言われています。

製品安全におけるリスク低減方策としては、下図に示す3ステップメソッドがありますが、ゆたんぼ



の低温やけどに対しては、①本質的安全設計（例：制御機構で温度を低くするか、接触時間を短くする）や②安全防護・保護装置（例：一定の温度帯に直接触れないように装置を設ける）などのリスク低減方策を採用することが困難なため、③使用上の情報伝達（例：表示や取扱説明書で警告したり、使用上の注意を喚起する）とせざるを得ないと考えました。

SG基準では、「発症のメカニズムを正しく伝える」及び

「低温やけど」を防止するため、又は傷害を最小限に留めたり、発症までの時間を長くする（遅らせる）ための方法を“最善の順”に“具体的”に示す」を明確に示す、具体的には低温やけど専用の説明書を製品に同梱することを要求、説明文の標準化、もっともリスク低減の可能性が高い方法を枠で囲う、文字認識率を向上させるため文字ポイント数の下限を決める、注意喚起効果を上げるため文字色を対比色にすることを規定致しました。

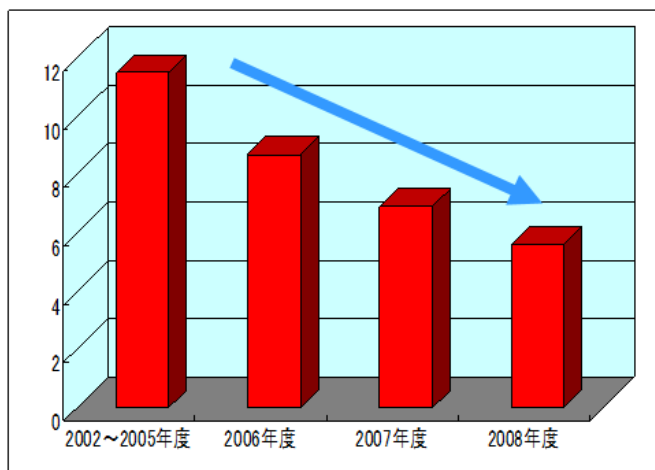
この結果、事故届出件数の対比ベースですと、対策前（2002～2005年度計） 11.5×10^{-7} に対し、対策後（2006年度 8.7×10^{-7} 、2007年度 6.9×10^{-7} 、2008年度 5.6×10^{-7} という具合に効果を得ることができました。

このように、一見すると文章による使用上の注意喚起は、必ずしも事故の未然防止に効果があるとは思えないという方

が多くいらっしゃいますが、注意喚起の仕方によっては効果を得ることができる事例となりました。

なお、日本工業規格でも「消費生活用製品の取扱説明書に関する指針」が制定されています。もし、ご興味のある方がいらっしゃいましたら、一度ご覧頂くことをお勧め致します。

（文責：業務グループ 松田）



SG ニュースへの掲載記事の募集

「SG ニュース」への記事掲載のご希望がありましたら、内容吟味のうえ、支障のない範囲で掲載させていただきます。ここで言う「支障のない範囲」とは、当協会是一般財団法人であることから、例えば、特定企業の宣伝になるようなものではない旨を意味します。

ご希望の方は、E-Mail: sg-news@sg-mark.org にて、『SG ニュースへの記事掲載を希望』とご記入のうえ、ご氏名、所属先、連絡先及び記事要旨をお書き添えいただくことにより、お申し込みください。こちらから連絡のうえ、内容についてお打合せさせていただきたいと存じます。

.....

SG ニュースのメルマガ配信

.....

メルマガ配信をご希望の方は、E-Mail: sg-news@sg-mark.orgにて、『SG ニュースのメルマガ配信を希望』とご記入のうえ、ご氏名、所属先もお書き添えいただくことにより、お申し込みください。

また、「SG ニュース」のメルマガ配信停止をご希望の方は、配信申込と同じ方法で『SG ニュースのメルマガ配信停止を希望』とご記入のうえ、ご連絡ください。

発行 一般財団法人製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2 階

電話 03-5808-3300(代表) 【URL】 <http://www.sg-mark.org>
